

令和7年度 第5回 全中理 開発教材コンテスト 実施要項

- 1 趣 旨
 - ・中学校の理科授業において、創意工夫が見られ、著しい教育効果が期待できる教材の普及を図る。
 - ・理科教育における教員の独創的・創造的な教材開発の資質・能力の育成を図る。
 - ・秀逸な教材を開発した教員にグランプリ、その他の賞を贈呈し、賞賛する。
- 2 期 日 審 査
 - 一次審査 令和7年12月22日（月）～令和8年1月19日（月）
 - 二次審査 令和8年2月24日（火）～令和8年3月27日（金）
 - 審査委員会による書類審査及び対面審査（プレゼン、質疑応答で10分程度）表 彰 令和8年8月 全中理奈良大会開会式
- 3 主 催 全国中学校理科教育研究会
- 4 後 援 （公益社団法人）日本理科教育振興協会
- 5 応募数 各都道府県で2点程度。
- 6 応募内容 開発教材及びその解説 「申込書」「応募の概要」「添付資料（A4で3枚以内）」
*既存の教材でも、独創的な工夫や創造的な付加価値があれば可。ただし、すでに他のコンテスト等での受賞した教材は不可。
- 7 各 賞 グランプリ（日本理振協会会長賞・全中理会長）
ヤガミ賞、ケニス賞、島津理化賞、ナリカ賞、内田洋行賞
- 8 賞 品 デジタル顕微鏡、プログラミング教材等
- 9 応募方法 全中理HPより、「令和7年度第5回全中理開発教材コンテスト」の実施要項にしたがって所定様式の「申込書」、「応募作品の概要」をダウンロード、期限までにWebにより送付。また、詳細等の提示のための「3枚以内の添付資料（教材写真、使い方解説等）PDF形式」については任意です。
- 10 受付期間 令和7年11月17日（月）「申込書（エントリーシート）」必着
令和7年12月5日（金）「応募の概要」「添付資料（A4で3枚以内）」必着
- 11 審査方法 「申込書」「応募の概要」「添付書類」により一次書類審査→その段階でグランプリ候補教材を数点に絞る。その後、二次審査では、一次書類審査と併せてオンラインでの対面審査（プレゼン、質疑応答で10分程度）を行う。
*原則、Webによる書類・対面審査等で各賞を決定する。教材実物及び撮影動画等の提出については事前相談とする。
- 12 審査基準
 - ・ねらいの明確さ（何のために使用するのかが明確になっているか）
 - ・教育効果の期待度（生徒の理解度・課題への達成度・興味関心の高さ）
 - ・オリジナル・独創性（教材に教師のオリジナル性を感じるか）
 - ・汎用性（多くの先生にとって使用しやすい教材となっているか）
- 13 発 表 令和8年5月に表彰する教材を審査委員会で決定し、各賞受賞者への発表は、令和8年度期首役員会確認後、全中理事務局より本人に伝える。また、全中理指導資料集及び全中理HPに掲載する。
- 14 送付先 東京学芸大学附属世田谷中学校 副校長 高田 太樹
TEL 03-5706-3301 FAX 03-5706-3340
E-mail kyozai-contest@zenchuri.net